見習い運営委員体験中

山浦弘靖

今春から「やまゆり」の運営委員をやっている。勤め人経験のない私には不慣れな事務作業が多いが、相方にはベテランの運営委員仲間がいてくれるので来館者に迷惑をかけることはない。とはいえ、それでも冷や汗をかくケースが度々だ。物覚えが悪くなったせいもあるが、やり事務経験、集団の中で働く経験がなかったためだろう。だが、苦痛ではない。単純で手順どおりの変化のない事務仕事が、少なくとも今の私の人生には新鮮に思えるのだろう。そして、何よりの楽しみは、相方との会話である。リタイア世代の様々な人生模様を垣間見られるからだ。とはいえ、女性関係までは聞き出せそうにもない。一番興味のあるテーマではあるのだが。

小学校でのお手伝い

中原秀樹

近所の西生田小学校に、週二回は「特別支援級」で、週一回は「地域の寺子屋」で学習ボランティアとして参加しています。自分の子どもの教育は忙しさにかまけてサボってきましたので、その「罪滅ぼし」で始めました。当初は戸惑いましたが、子どもたちと接するうちに、「歳の離れた友人」として楽しい時間を過ごせるようになり、今では週三回学校に「登校」することが楽しみになりました。シニアが多数、地域に戻りつつある今、日常的に子どもたちと接するこのような機会は、子どもたち、シニア双方にとって大変有意義な機会だと思います。是非あなたも校門をくぐってみませんか。

七年に一度のお参り

齋藤和彦

もうお分かりですよね！長野の善光寺です。お参りは今回で２回目です。前回は三十数年前だったと思いますが、七年に一回しか見られないならという軽い気持ちで何をどう見たのかの記憶もありません。小さくて良く分からなかった。これでは来た甲斐がないなと感じたのを憶えています。今回は双眼鏡を持参し中まで入ってやっと五メートル程度前でお参りし、その後、列を避けて双眼鏡でじっくり見ました。見ているとそばの参拝客が「糸は天井までしか来てないよな」と話しているのが聞こえたので、自分はそこまで確認していなかったのに気づき、双眼鏡でよーく見たら、本尊の右手と回向柱が糸で繋がっているのが分かりました。考えていたお参りを全て終えて、清らかな気持ちになり早めの昼食にありつきました。

本堂と柱の間の糸が見えるかな？

ちりりん座八月公演のお礼

山浦弘靖

此度の公演では、「あ・そうかい」の皆様からご支援を頂き感謝申し上げます。極小劇団がシェクスピア劇に取り組む夢を実現できたのも、「やまゆり」スタッフをはじめ皆様の支えのお陰です。是非とも公演を成功させ、「やまゆり」をミニシアターとして地域の演劇を志す人々に利用して頂く、その先達になればとの思いを新たにしています。

新入会者・紹介

あ・そうかいはスタート時の二十八名から新たに次の九名の仲間が加わり、三十七人家族になりました。

島本美佐子さん
・ギターが得意な東京っ子

田中喜美子さん
・多摩川博士・何でも聞いて！

福司美智子さん
・経営学が専門の秋田こまち

北川泰さん
・寄席が好きな渋好みの紳士

牧野克己さん
・英雄で独裁者（劇中のこと）

宮澤恵子さん
・面倒見のいい信濃っ子

長田まさるさん
・演劇活動中の我らがスター

白石雅彦さん
・ウィキペディアで調べて！

谷添照美さん
・行動派の浪速っ子

図書紹介

ネパールの山よ緑になれ

安倍泰夫著・春秋社刊

山男でもある、一人の小児科医が、ヒマラヤの山での遭難をきっかけに、一人のネパールの少女を養女にし、そのことがネパールの禿山を植林で緑の山に変えていくことにつながっていくという感動の書。三十年以上前から今につながる話です。この本の印税はネパールの植林のための基金になります。ぜひご一読ください！

季節のうた・九月

初秋（はつあき）や餘所（よそ）の灯見ゆる宵のほど

与謝蕪村

（宵のうちはまだ余所の家の灯が見えて暖かみを感じるが、もうすっかり涼しさが身に沁むなぁ！）

編集後記

メンバーが増え、ＨＰができ、分科会活動も活発化、我らが「あ・そうかい」は軌道に乗りました。皆さん！一層の自己実現を目指してください。